

「Beyond 2050 プロログ第5節」 京都大学が描く未来の食と農

「Beyond 2050」は、京都大学のあらゆる分野の研究者・学生が従来の学問分野の枠組みを越えて議論し、2050年以降も通用するアジア発の新たな価値基準に基づく未来の社会像を提案する研究組織です。



本シンポジウムでは、

それぞれの分野の第一線で活躍する本学教員に、目指すべき未来社会について、語ってもらいます。本シンポジウムを通じて、皆様にも「Beyond 2050」でなされるであろう議論の一端を体感していただきます。
今後もシンポジウムを通して、みなさまと共に新たな世界を構想してまいりたく存じます。
ぜひ、ご参加ください。

2024.07.19 金

13:30-16:30 ー開場13:00

[会場] 京都経済センター 3F KOIN (現地開催のみ)
京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地

[参加費] 無料 (要事前登録)

[定員] 120名程度

[お問合せ] beyond2050_reps@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

[主催] 京都大学成長戦略本部、京都大学人と社会の未来研究院
[共催] 京都大学大学院人間・環境学研究科学術越境センター
京都大学学際融合教育研究推進センター

お申込みは
こちら



詳しくは
こちら



TIME SCHEDULE		司会進行 [成長戦略本部 Beyond 2050構想室 香月 亜美]
13:30-13:35	開会挨拶 成長戦略本部 副本部長 木村 俊作	
13:35-13:55	パネリストによる話題提供1-「農業機械と農業技術は何を目指すのか？」 歴史的に見て人類は空腹との闘いでした。しかし、今では、若い世代を中心に「何を食べるのか?」、「その食べ物をどのようにつくるのか?」が強く問われています。一方で、日本には世界中の人たちが羨望する農産物があり、その生産技術、農業空間があることから、これらをどのように維持、発展させるかが日本の農業に求められています。そこで、これらを解決するための農業分野における最新の生産技術の事例紹介を通じて、生命・生物資源循環の視点、Alvin Tofflerが提唱するProsumersに立脚した新たな農業機械、農業技術についてお話しします。 農学研究科 教授 野口 良造	
13:55-14:15	パネリストによる話題提供2-「フードシステムはどのように維持されるのか、変容するのか～事業者と消費者の判断・行動から考える～」 価格競争や大手小売店のバイイングパワー、生産・流通に伴う環境負荷など、フードシステムの持続可能性を脅かす問題が噴出し、対応に迫られています。そこでは、生産から消費までの各主体が、自らの経済的・社会的持続可能性だけでなく他者や環境を考慮する向社会性をもつことに加え、要素間のトレードオフが生じる可能性を理解し共有することが不可欠と考えられます。本講演では、主に認知科学の観点から、フードシステムの川下の事業者と消費者の判断と行動、規範のコンフリクトをとらえ直し、未来に向けた可能性と課題を考えます。 農学研究科 講師 鬼頭 弥生	
14:15-14:35	パネリストによる話題提供3-「来るべき給食のためにー歴史学からのアプローチ」 1889年に始まった日本の学校給食は子どもを飢餓から救い、災害時には炊き出しの拠点となってきました。また、敗戦後GHQ占領下に再開する給食は、教師と子どもの交流を深めたり、給食を通じて社会や自然を学んだりするという意図が加えられます。現在、給食は、若手有機農家を育て地域の活性化、自給率上昇につなげたり、子どもの栄養改善を助けたり、と可能性が広がる反面、民営化、センター化などの合理化政策によって質が低下する問題が多発しています。拙著『給食の歴史』の議論を踏まえつつ、未来の食と農を給食から考えてみたいと思います。 人文科学研究所 准教授 藤原 辰史	
14:35-14:45	休 憩	
14:45-16:25	パネルディスカッション ファシリテーター 農学研究科 教授 近藤 直 パネリスト 3名 (野口、鬼頭、藤原) コメンテーター 株式会社パソナグループ エキスパート役員 塩谷 愛 様	
16:25-16:30	閉会挨拶 成長戦略本部 特任教授 石原 慶一	
※会期終了後、閉場まで名刺交換会 (任意参加)		



録画上映会のご案内

[日 時] 2024年7月25日 (木) 18:00-19:30
[会 場] 本学東京オフィス 大会議室A
(〒100-6510 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸ビル10F)
参加費無料 (要事前登録)
[申 込] <https://forms.gle/g8Mei8jrqrTYNChzx7>
(表面QRコードのリンク先と同じ)

※申込の状況次第で、変更する可能性があります。
ご承知おきください。



京都大学
KYOTO UNIVERSITY